

<核の傘>から<非核の傘>へ —いまこそ北東アジア非核兵器地帯を—

核兵器禁止条約が発効して1年が経ちますが、日本の市民の約7割が日本の核禁条約への参加を求めています。その声を具体化するためには、日本は、安全保障を核兵器に依存する核抑止政策からぬけだす政策を探ることが必要であり、その答えは、北東アジア非核兵器地帯構想の検討を始めることです。そこで、昨年、「北東アジア非核兵器地帯設立をめざす国際市民連合」(C3+3)の立ち上げに尽力し、日韓の国会議員への働きかけを進めようとしている元参議院議員の犬塚直史氏の講演を軸に考えます。

講演

北東アジア非核兵器地帯と世界連邦運動



犬塚直史 世界連邦運動(WFM)共同代表/
北東アジア非核兵器地帯設立をめ
ざす国際市民連合(C3+3)事務局長/
元参議院議員

*コメント：片岡栄子（ふえみん共同代表）
梅林宏道（ピースデポ特別顧問）

2022年2月20日（日）

14：00～16：00（13：30開場）

主催：**ピースデポ**

会場：**明治学院大学白金校舎
3号館3101教室**

TEL: 045-563-5101 / FAX: 045-563-9907

E-mail: office@peacedepot.org

後援：明治学院大学国際平和研究所
(PRIME)

事前申し込み不要
資料代：500円

- ・ 白金台駅2番出口、白金高輪駅1番出口、高輪台駅A2番出口から徒歩7分。
- ・ 品川駅、目黒駅から徒歩20分。

